

Leon Riche

レオン・リシェ (1847~1907)



作品名 風景

種類 キャンパス・油彩

サイズ 仏F6号

略 歴

- 1847 フランスのサルト県のソーレムに生まれる。ナルシス・ディアズの弟子となる
- 1869 サロンへの出品をはじめ。パリ画壇に登場22歳。
- 1883 サロン受賞
- 1885 サロンの選外佳作賞受賞
- 1888 サロン銀賞受賞
- 1901 サロン銀賞受賞
ディアズとルソー双方から影響を受けたバルビゾン派第二世代の巨匠であり代表的画家。
- 1907 フォンテーヌブローにて死去

フランス西部フランドル地方ノルマンディーのソーレムに生まれる。アカデミーの画家ルフィーブルおよびブーランジェに師事していたが、ディアズの絵に惹かれ彼の弟子になる。またコロヤルソーの影響を受け風景画の巨匠の良い所、自分に合う画風を取り入れリシェの画風を作り上げ中でもフォンテーヌブローの森や田園風景を誠実に描くのは有名ですが、この森の中を描く部分では印象派の描き方も取り入れています。1869年からサロンに出品し、好評を得る。1885年選外佳作賞、1888年と1901年に受賞。彼はバルビゾン派の影響を受けた風景画家で、特にルソーの画風を受け継いでおり、バルビゾン派の巨匠たちの弟子世代における巨匠であり代表的な画家である。フォンテーヌブローの森を多く描いた。フォンテーヌブローで没60歳。